

令和6年 3月22日

報道発表資料

川崎市（まちづくり局・健康福祉局・こども未来局）
川崎市上下水道局

錦ヶ丘老人いこいの家・錦ヶ丘こども文化センターの雨水・汚水管の誤接続について

この度、本市複合施設である錦ヶ丘^{にしきがおか}老人いこいの家・錦ヶ丘こども文化センター（多摩区）において、公共下水道（汚水管・雨水管）への誤接続が判明しました。なお、五反田川については水質の常時監視を行っており、汚水の流出による影響は確認されていません。

長年にわたって汚水を河川に流出させていたことにつきまして、近隣住民の皆さまに深くお詫び申し上げます。今後については、近隣住民の皆様にご安心していただけるよう、市として適切な対応に努めてまいります。

1 経過

令和6年3月7日（木）、錦ヶ丘橋付近の五反田川が白濁しているとの電話連絡が環境局にあり、その後、環境局と上下水道局が目視による追跡調査をしたところ、河川の吐出口（錦ヶ丘橋付近）から錦ヶ丘老人いこいの家・錦ヶ丘こども文化センターの施設付近まで下水管内の白濁が確認されました。

当該施設では、外壁塗装改修工事の施工中であったことから、白濁の原因等との因果関係について調査を行っている中で、同年3月13日（水）と14日（木）に、施設所管局である健康福祉局及びこども未来局、まちづくり局、上下水道局が施設敷地内から公共下水道（汚水管・雨水管）までの接続状況を現地で確認したところ、汚水管と雨水管が逆に接続（誤接続）していることが判明しました。

2 原因

当該施設が開館した昭和49年頃は浄化槽を利用しており、その後、昭和63年頃に公共下水道への接続工事が行われたものと考えられます。当時の書類は保存期間を過ぎており、書類がないため、本管への接続に関する詳細な情報はありませんが、公共下水道への接続は、市指定工事店により工事及び確認を行っていることから、市指定工事店が接続したものと考えられます。

3 今後の対応

当該施設における緊急対応といたしましては、施設内から汚水が流出しないように、ポンプで適正な汚水排水経路を確保する処置を行いました。今後、施設内の汚水管及び雨水管の改善工事を早期に実施します。

また、この度の錦ヶ丘橋付近の五反田川の白濁につきましては、当該施設の外壁塗装改修工事の中で作業員が筆を洗った水が汚水桝に流れ、誤接続された雨水管に流れたことが原因の一つとなった可能性があると考えられますが、引き続き原因の特定に努めてまいります。

【問合せ先】

外壁塗装改修工事に関すること

川崎市まちづくり局施設計画課 柳瀬

電話 044-200-1728

老人いこいの家に関すること

川崎市健康福祉局高齢者在宅サービス課 堀江

電話 044-200-2650

こども文化センターに関すること

川崎市こども未来局青少年支援室 米塚

電話 044-200-2667

公共下水道管に関すること

川崎市上下水道局管路保全課 松原

電話 044-200-3557